

太陽黒点観測報告

2019年2月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は、気圧配置は移動性となり天気の変化が早くなっている。気温の変化も大きく、雪のチラつく日もあったがだんだんと暖かくなり春めいてきている。関東南部では伊豆諸島北部に発生する低圧部の影響を受けて、比較的曇りの日が多く観測日数は伸びなかった。

黒点活動は、2月中は観測にかからず、全面無黒点の日が続いて。相対数はゼロを記録した。北半球では1月末以来、南半球では昨年12月上旬以来、無黒点が続いている。

今期は2213~2214周期の観測だった。私の所では、新しい黒点群は観測できなかった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相(/5), 肉眼黒点群, 天候. Rows for dates 01 to 28.

合計 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 -- (--/0日)

相対数(10g+f) 0 0 0 0
日平均相対数 0.0 0.0 0.0 0.0
相対数活動比 --% --% --%
相対数前月比 -100.0% -100.0% -100.0% -100.0%
日平均相対数 0.0 0.0 0.0 0.0
修正値 (k=0.6)

観測日数 15日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35°25.2' 東経 139°29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍. 96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

### 3) 黒点群活動表

略語表

e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;  
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;  
 \*/\_ : Visible to the naked eyes; uk: Unknown; x: Not find; (p): penumbra

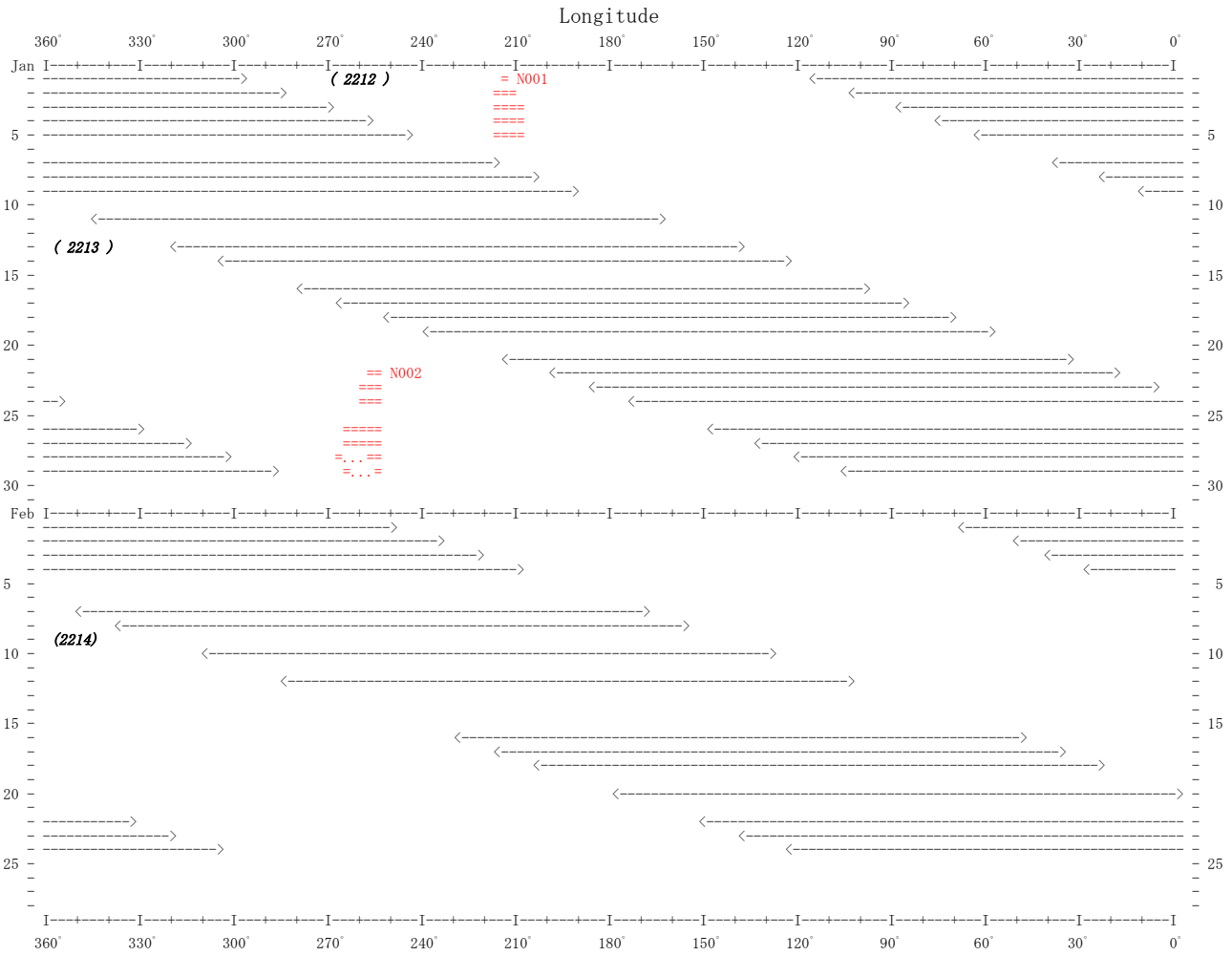
### 北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測 初日 F. Obs.	期間 中央通過 C. M. P	末日 L. Obs.	活動状況 Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage
Ro. #	NOAA Murakami						- - - - - : - - - - -

( None )

*Sunspot Drift-Chart January 2019 ~ February 2019*

北半球 Northern hemisphere



Date Latitude : 00° ~ 10° : == , 10° ~ 20° : + + + , 20° ~ 30° : - - - , 30° ~ : \* \* \* / West Edge : --> , East Edge : <--

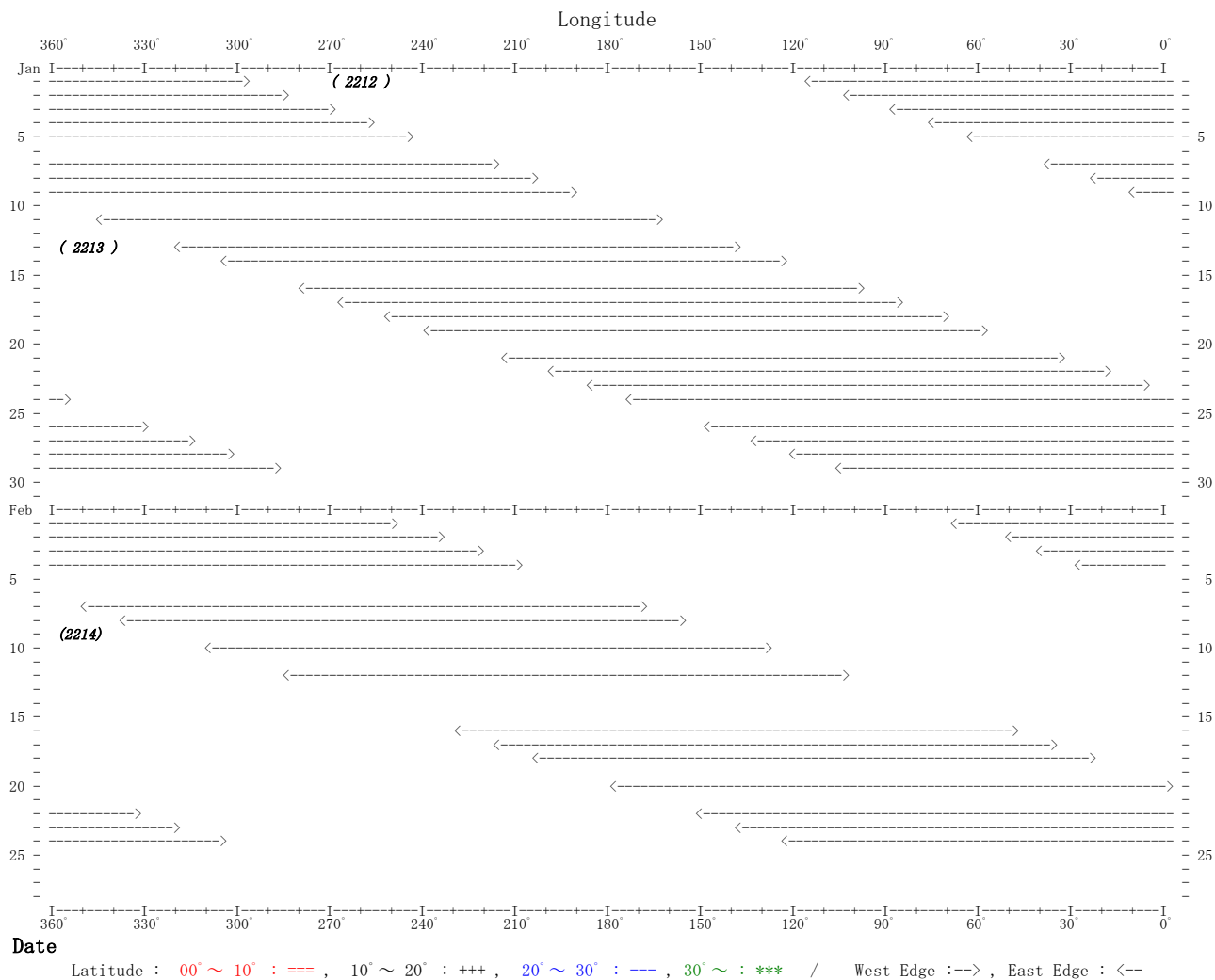
### 南半球

周期	群番号	太陽面	太陽面	観測期	間	活動状況
番号	Group Number	緯度	経度	初日	中央通過	末日
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.
						Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage
						- - - - - :- :- - - - -

( None )

### Sunspot Drift-Chart January 2019 ~ February 2019

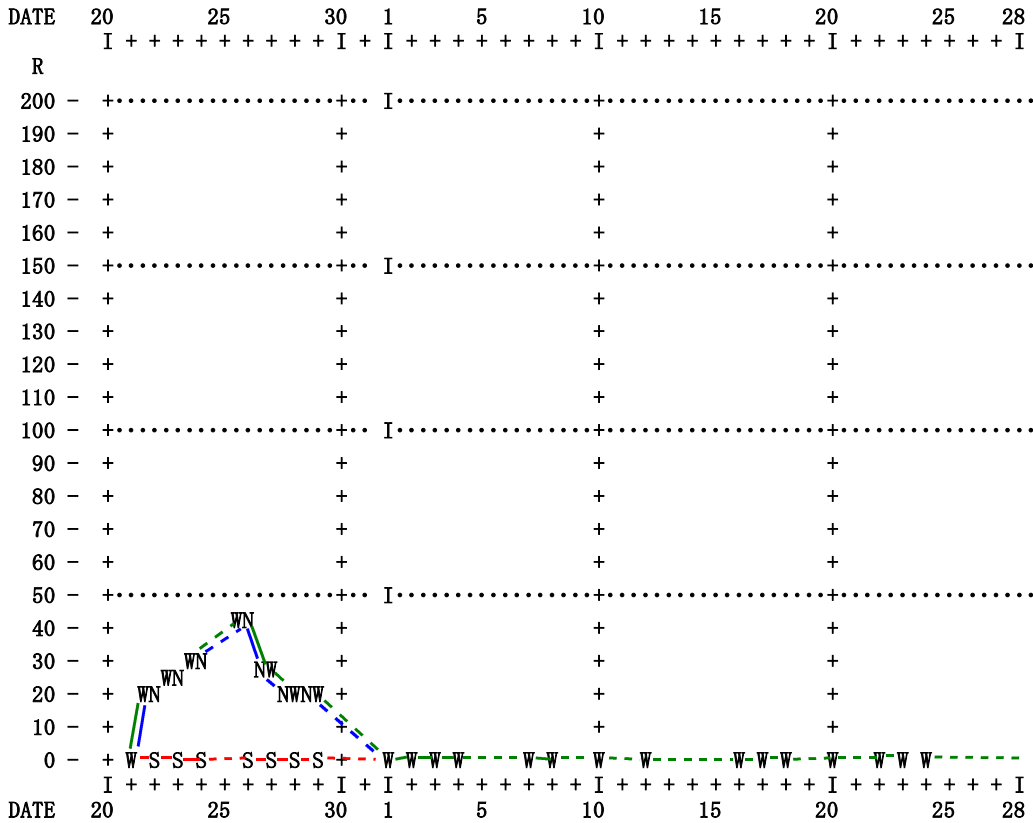
南半球 Southern hemisphere



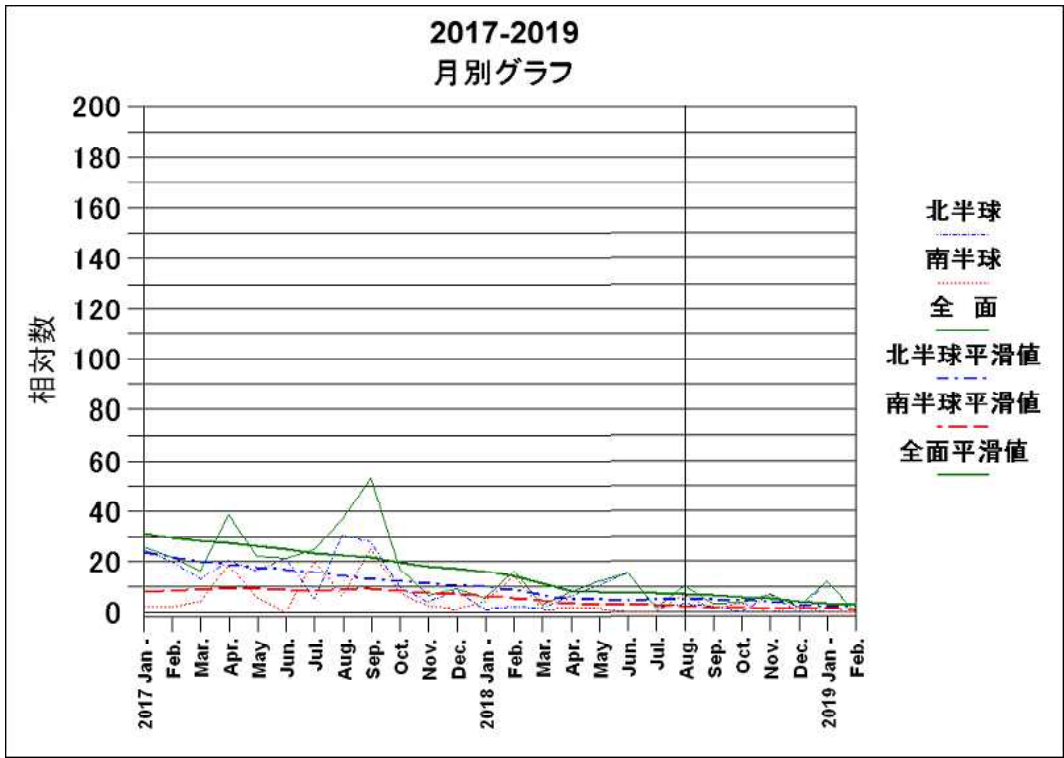
4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0)      W:全面 N:北半球 S:南半球

2019 February



5) 前年からの月別相対数変化図



平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2018 Aug. までの値が今月までの観測を反映している。